

切削加工

電子部品・デバイスの実装

●スライドガラス等の医療理化学用ガラス、一般電子工業用ガラスの開発・製造・販売

松浪硝子工業株式会社

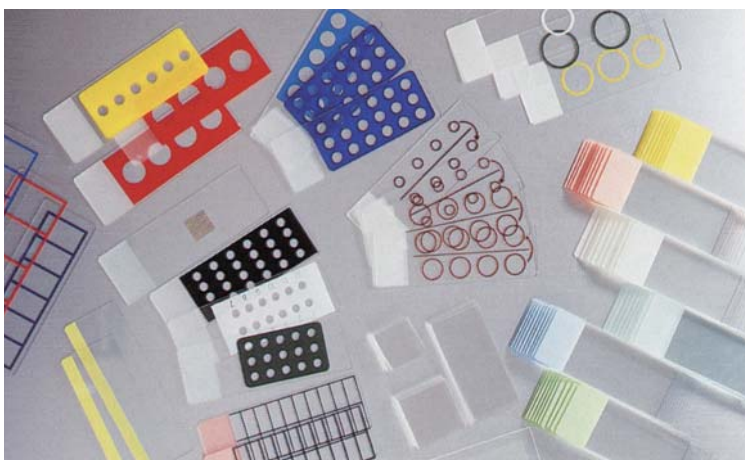
▶TEL: 072-422-4545 FAX: 072-436-2265

▶URL: <http://www.matsunami-glass.co.jp/>

ここが
スゴイ!

特殊薄板ガラスの総合メーカーとして国内シェア 60%を誇る。 スライドガラスは世界中で利用

江戸時代の合わせ鏡の製造を起源に、医療理化学用からディスプレイ等の電子部品まで、特殊薄板ガラスの総合メーカーとして創業以来160余年に及ぶ歴史を刻み続けている。国内で初めて製造したスライドガラスは、現在でも国内シェア60%を占め、高度な機能が評価され、医療技術の先進国であるアメリカも含め、世界中で利用されている。



多様なバリエーションを誇る臨床検査用ガラス



光電子材料の技術開発で
ディスプレイ市場へ参入を狙う

事業概要と躍進の契機

江戸時代の合わせ鏡の製造を起源に、特殊薄板ガラスの製造技術の発展に寄与

創業は江戸時代。薄ガラスを素材にして合わせ鏡を起源として、明治37年には日本初の顕微鏡用カバーガラスを製造。以降、特殊薄板ガラスの製造技術へと強化し、開発型企業として独自の企画開発技術システムを整えてきた。スライドガラス等の医療理化学用ガラス、一般電子工業用ガラスをはじめとする特殊薄板ガラスの総合メーカーとして事業を展開している。

会社の強み・主力商品など

病院に直接出向いて技術開発を進め、多種類の臨床検査用ガラスを展開

スライドガラスをはじめとする臨床検査用ガラスは、全国1500箇所の病院に営業が出向いて担当者に直接話を聞き、現場と密に交流することで技術開発を進めてきた。さまざまな高度な機能が求められ、同じ製品でもユーザーにより使い方は様々で、個別の細かなニーズに応えながら製品開発を進め、現在では260種類におよぶ臨床検査用ガラスの製造販売を行っている。

今後の事業展開

高精度マイクロレンズの開発から、ディスプレイ市場に参入

薄板ガラス基板上へのマイクロレンズ形成の開発を、長年の技術やノウハウの蓄積を活かして実現した。マイクロレンズは、テレビや写真に薄板ガラス基板を貼り合わせることで平面映像を3D化でき、映像の歪みがプラスチックレンズの1/10程度と高精度が期待できる。今後は、専門事業部を立ち上げて、ディスプレイ市場へ本格的な参入を目指している。

●企業プロフィール

〒596-0049 岸和田市八阪町2-1-10

代表取締役社長 松浪 明

創業:1844年(弘化元年) 設立:1948年(昭和23年)

従業員数:260名

資本金:9,000万円

企業メッセージ

「中小企業が元気にならないと、関西は元気にならない」との思いで切磋琢磨しています。昔から続く家業を守りつつ、時代のニーズに応じて進化していき、新たな時代を築いていけるよう、地域密着で取り組んでいくつもりです。

代表取締役社長 松浪 明



■用語解説

薄ガラス：うすはり。合わせ鏡の素材となるガラス材料。 ガラス基板：電子部品の素子等を形成するための基板として利用される板状ガラス。
マイクロレンズ：微細加工技術により形成した口径が数〜数百マイクロメートルの微小なレンズ。